

【概要】

訪日旅行の持続的発展にむけて

令和7年3月

一般社団法人 日本旅行業協会
訪日旅行推進委員会

事業目的・背景・課題

持続可能な観光

地方誘客促進

- 観光立国推進基本計画において、インバウンド回復に関する目標である**令和7年までに令和元年水準（3,188万人）超え、旅行消費額早期に5兆円超え**、は令和6年期中にて達成。
- 持続可能な観光を実現させるには地方部への誘客促進が必須であるが二次交通不足の解消等にはさらなる規制緩和が必須。
- 一方で持続可能な観光を継続には公平な競争環境を維持することが重要であり、ルール作りとチェック体制の強化が必要。

事業内容

①日本版ライドシェア(RS) 対象地域のさらなる拡大

地方部の観光地における移動手段の確保に向け日本版RS導入推進・拡大を目指し、先行地域における実態調査を元に新規導入地域へ水平展開を図る。併せてデータを元にした事業者に対する安全管理体制の強化を実施

②地方の観光地における完全自動運転早期導入に向けた取り組み

「観光の足」に課題のある地方の観光地を中心に複数のモデル地域に選定し完全自動運転の実証実験を通じて地方の観光地への完全自動運転の早期導入実現

③規制緩和後の実態調査と違法業者の取り締まりの強化

公平な競争を実現させるための白タク・下限割れ貸切バス等の違法行為の実態調査並びに取り締まりの強化。違法労働従事者増加につながる「外免切替」の制度・運用の見直しの検討

④全国通訳案内士等による自家用車利用のガイドライン策定

自家用車利用の実態調査の実施と利用者保護のための利用ガイドライン（事故発生マニュアル・損害保険加入）の策定を通じた当ガイドライン活用促進

インバウンド意識調査関連箇所

P19-P20：インバウンド観光客受入の課題について（現在）

P22-P23：インバウンド観光客受入をさらに伸ばさせるための条件について（将来）

P24：具体的に必要な国・政府の支援・官民連携のあり方について

事業イメージ

規制緩和の推進

ルール作り
チェック体制強化

- ・日本版RS拡大
- ・日本版RS先行事例の水平展開
- ・地方の観光地における完全自動運転の導入

等

連携

- ・日本版RS実態調査
- ・通訳ガイド自家用車利用ガイドライン策定
- ・違法業者取締り強化
- ・違法業者抑制につながる制度・運用の見直しの検討

等

持続可能な観光の実現

地方誘客

地方部における新規
事業者参入促進

高付加価値化

新規需要

SDGs

国際競争力

地域活性化

地方における高付加価値旅行商品の造成と観光定着に向けた各種支援

事業目的・背景・課題

地方誘客促進

消費額拡大

- 観光立国推進基本計画において、インバウンド回復に関する目標である**旅行消費額早期に5兆円超え、令和7年までに旅行消費額単価20万円**は令和6年期中にて達成。
- 地方部への宿泊は2019年を上回るものの都市部の伸びと比較し下回っている。
- 消費額の持続的な拡大（総額・単価）には為替水準に左右されない安定した地方誘客が必要不可欠であり、地方誘客のフックとなる高付加価値旅行商品造成に加え、後の商品定着化に向けた取組を実施し、地方部誘客事業の自走化に向けた支援が急務。

事業内容

①商品造成・認知度向上から地方部誘客事業の自走化支援への転換

訪日観光客の自発的・継続的な地方部への訪問を実現させるために多年度に渡る支援を通じて高付加価値旅行商品の造成後、販売市場や販売層の的確なマッチングによる流通ルートの整備等の実証を繰り返しつつ観光商品としての定着・自走化を目指す

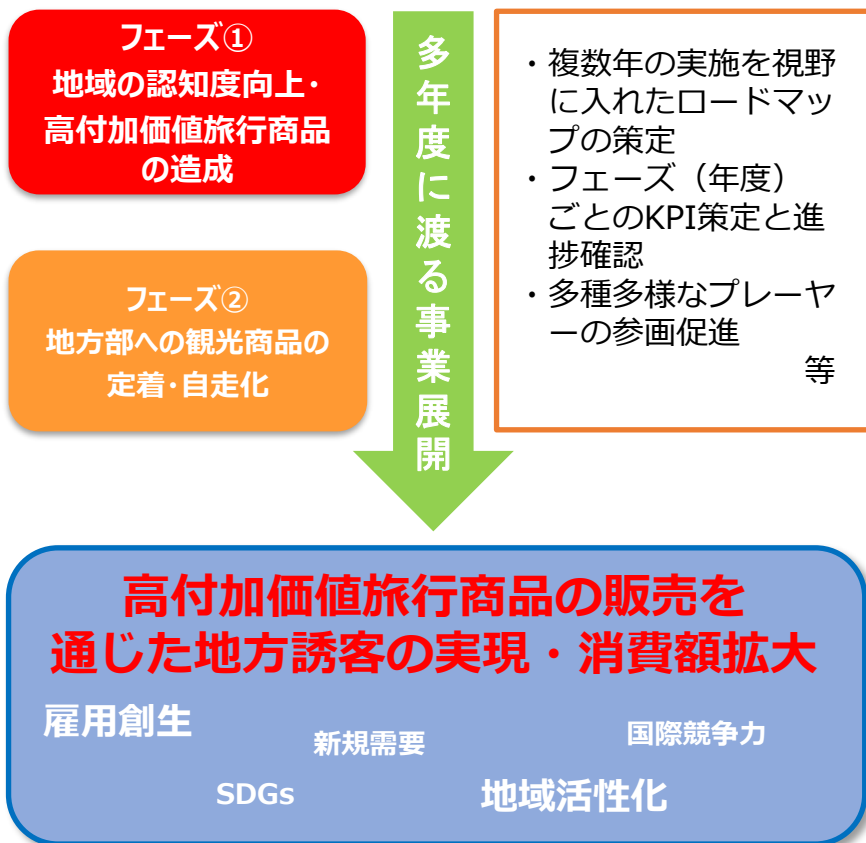
②多様な事業者の参画・連携を可能とする事業体制の構築支援

高付加価値旅行商品の造成・流通・販売に必要なノウハウは多岐にわたることから、多種多様な地方公共団体・民間事業者（旅行会社・ツアーオペレーター）の事業参画・連携を容易とする事業者マッチングの実施や事業者紹介ポータル構築等の支援

③高付加価値旅行・アドベンチャーガイドの育成支援

高付加価値旅行ガイド・ATガイドに必要な統一的要件の明確化、ガイドラインの策定・公表、研修制度の充実を通じて、訪日旅行者が安心して地方部への旅行を満喫するためのガイド育成に対する支援

事業イメージ



インバウンド意識調査関連箇所

P12-P13：新たに発達した旅行・観光コンテンツについて

P22-P23：インバウンド観光客受入をさらに伸ばさせるための条件について（将来）

P24：具体的に必要な国・政府の支援・官民連携のあり方について

観光産業における人手不足・人材不足解消に向けた各種支援

事業目的・背景・課題

持続可能な観光

- 観光産業における人材不足は宿泊事業者・輸送事業者を中心に深刻な状況にあり早急な対策が必要。
- 観光産業における「稼ぐ力」は国内全産業平均よりも低いいため賃金レベルも平均を下回っている。
- 旅行会社においても中小事業者を中心にDX対応の遅れ、生産性の低さが顕著なことから、事業効率化・省力化支援が急務。
- 産学連携により観光産業の重要性を学ぶ機会を増やすことで将来の観光人材の確保につなげることが重要。

事業内容

①旅行会社における人材不足解消に向けたDX化・省力化支援

中小旅行会社を中心とした、生成AI技術等の活用による日程表・見積書作成等のDX化・自動化・省力化の支援を強化し、業務効率化の実現を通じて一人当たりの労働生産性向上を実現

②「稼ぐ力」向上に向けた人材確保促進事業の対象範囲拡大

宿泊事業者等を対象に実施されている「人材確保促進」事業の対象範囲を観光産業全体に拡大をし、観光産業全体の「稼ぐ力」を向上させ、人手不足の解消を図る

③観光教育普及に向けた指導者層向け教育プログラムの充実

小学校・中学校等の初等教育・初級中等教育への観光教育普及に向け教師等指導者層を対象としたWEB教育プログラムの開発・セミナー等の実施や外部講師の登用支援

事業イメージ

旅行会社・観光産業
における人材確保

DX化・省力化の
推進

連携

・人材確保促進業
の対象範囲拡大
・観光教育指導者層
育成支援
・観光教育普及の初
等教育・初級中等
教育への取組強化
等

・省力化を目的とし
た設備投資支援
・生成AI技術活用による
中小旅行会社
DX化推進・転換
支援
等

稼ぐ力の向上

持続可能な観光の実現

雇用創生

地域活性化

国際競争力

インバウンド意識調査関連箇所

- P4 : 従業員数について
- P19-P20 : インバウンド観光客受入の課題について (現在)
- P22-P23 : インバウンド観光客受入をさらに伸ばさせるための条件について (将来)
- P24 : 具体的に必要な国・政府の支援・官民連携のあり方について
- P25 : 人手不足・人材不足の要因について
- P26 : 人手不足・人材不足の職種について

事業目的・背景・課題

持続可能な観光

地方誘客促進

消費額拡大

- 宿泊統計調査によると三大都市圏を除いた地方部の外国人宿泊者数は19年比+16%と着実に増加しているものの、三大都市圏の+57%を大きく下回り格差が拡大。訪日外国人の集中による一部地域におけるオーバーツーリズムの解消も課題。
- 地方部への誘客促進には高付加価値商品を中心としたコンテンツ造成・流通体制の構築に加え、受入環境の整備が必須。
- 地方部における安心・安全な旅行実現に向けた災害・事故等発生時の危機管理体制の構築が急務。
- 2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた観光分野の脱炭素化の推進

事業内容

①地方部の受入環境整備のさらなる推進

地方空港の輸送力拡大、スムーズな出入国体制の整備。空港・主要駅・観光施設等の二次交通の整備並びに多言語対応・バリアフリー対応強化

②クルーズ寄港に伴う一時的な交通渋滞等の解消

パークアンドライド整備支援、専用レーンの設置等クルーズ寄港に伴う一時的な交通渋滞解消に向けた各種受入体制の整備

③事故等発生時も包含した安全・安心対策の強化と発信力強化

災害に加え事故等発生時の対策も包含した危機管理体制の構築支援、観光施設、医療機関等の多言語化支援。Safety tipsのアップグレードによる事故情報の集約・発信の実現。Visit Japan Webとの一元化による訪日外国人への発信力強化

④観光における脱炭素化推進に向けた支援の強化

地方事業者、中小事業者を中心とした観光における脱炭素化の具体的な行動を可能にするためのCO₂排出量可視化ツールの導入支援等の実施

事業イメージ

【ハード】
地方部における受入
環境整備

- ・地方空港の輸送力拡大、出入国体制の整備
- ・二次交通の整備
- ・クルーズ寄港に伴うパークアンドライド、専用レーン設置
- ・脱炭素化推進 等

【ソフト】
危機管理体制の構築
情報発信の強化

- ・災害・事故時の危機管理体制構築支援
- ・観光施設・医療機関等の多言語化支援
- ・ワンストップでの情報発信による利便性向上・情報伝達率の改善 等

連携

インバウンド意識調査関連箇所

P19-P20：インバウンド観光客受入の課題について（現在）

P22-P23：インバウンド観光客受入をさらに伸ばさせるための条件について（将来）

P24：具体的に必要な国・政府の支援・官民連携のあり方について

・「ストレスフリー・バリアフリーで快適な旅」「安全・安心な旅」の提供を通じた持続可能な観光・地方誘客促進・消費額拡大の実現

・観光における脱炭素化の実現